TOSHIBA
Leading Innovation >>>

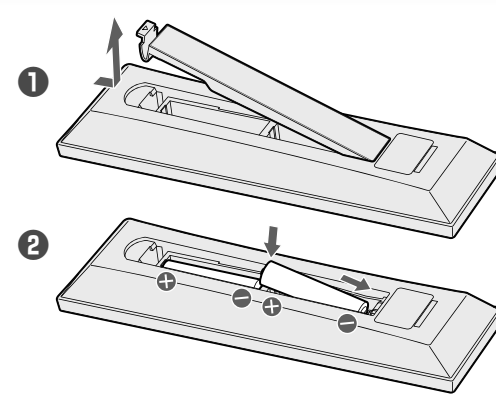
かんたんガイド

お願い －安全に正しく使用するために－

- 取扱説明書「準備編」に「安全上のご注意」を記載しています。設置・接続の前に必ずお読みください。
- 取扱説明書「準備編」に「ご使用上のお願いとご注意」、「たいせつなお知らせ」を記載しています。ご使用の前にお読みください。
- 取扱説明書「準備編」の「テレビを設置する」のページに、設置のしかたや転倒・落下防止のしかたを記載しています。設置のときにお読みください。

1 リモコンに乾電池を入れる

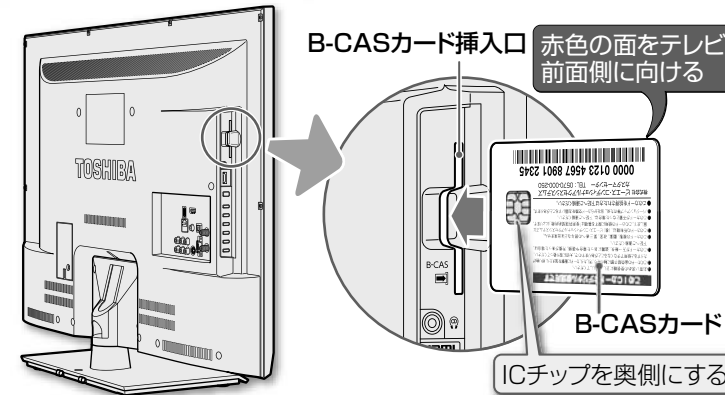
- 付属の乾電池を入れます。

❶ 電池カバーをはずします。
❷ 極性表示⊕と⊖を確かめて、乾電池を正しい向きに入れます。

2 B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

※ 製品の外観は機種によって多少異なります。

- デジタル放送を視聴するにはB-CASカード(同梱)が必要です。常に本機のB-CASカード挿入口に入れておいてください。
- B-CASカードが貼られていた説明書を参照して、登録をしてください。

お問い合せについて…

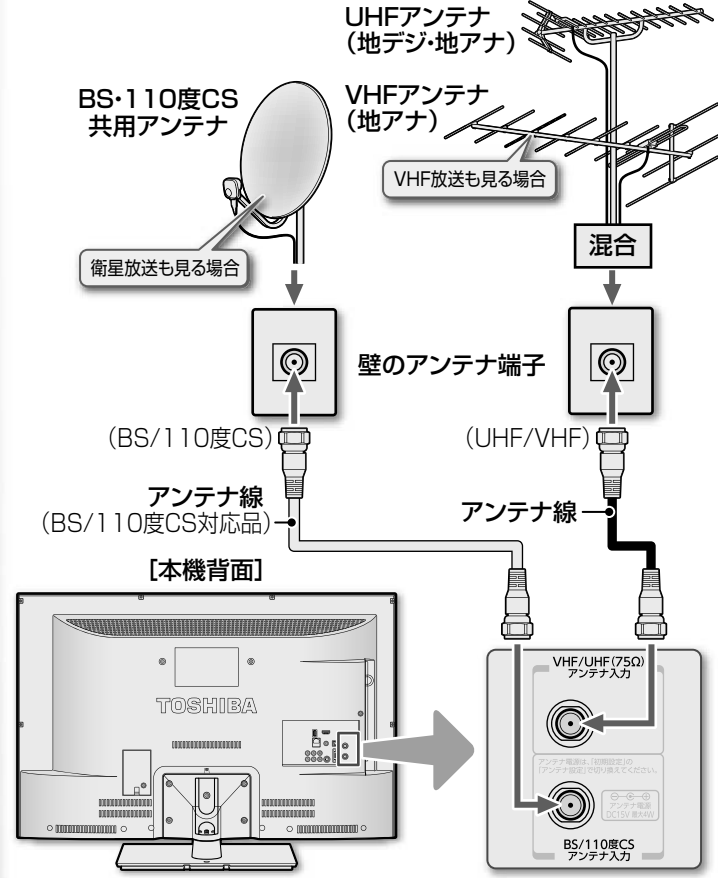
商品のお取り扱いやアンテナの調整に関してご不明な点は…
お買い上げの販売店にご相談ください。

お取り扱いのご相談は「東芝テレビご相談センター」

一般回線・PHSからのご利用は(通話料：無料) フリーダイヤル 0120-97-9674
携帯電話からのご利用は(通話料：有料) ナビダイヤル 0570-05-5100
365日 受付時間 9:00～20:00
FAX 03-3258-0470
※IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は 03-6830-1048(通話料：有料)

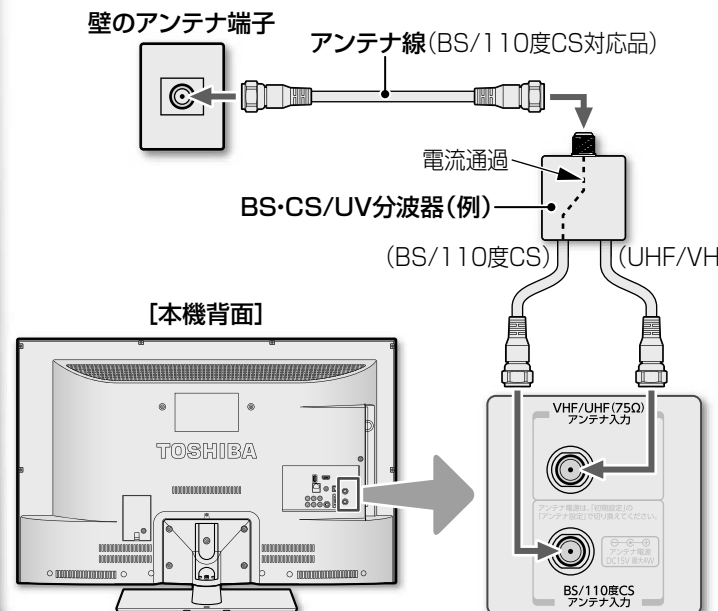
3 アンテナ線を接続する

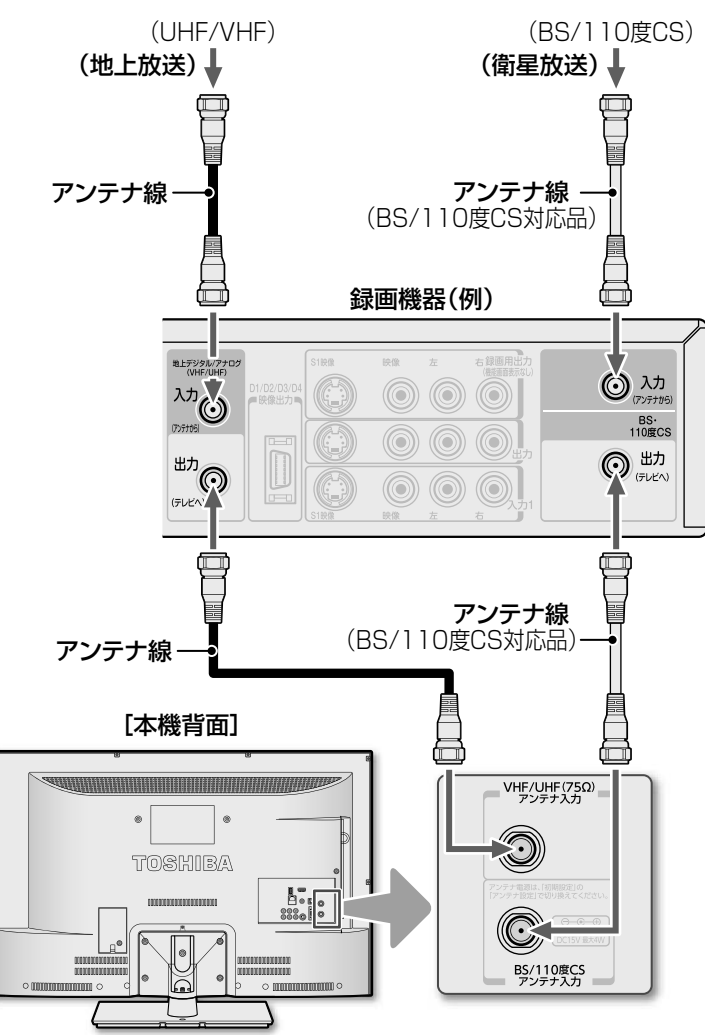
- 接続に必要なケーブルや分配器などは付属されていません。市販の適切なものを別途お買い求めください。
- 地上デジタル放送の受信にはUHFアンテナを使用します。現在お使いのUHFアンテナが地上デジタル放送にも対応しているかなど、アンテナについてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源プラグは、アンテナの接続が終わってからコンセントに差し込んでください。

1 テレビだけの場合　接続例

UHFアンテナ(地デジ・地アナ)
VHFアンテナ(地アナ)
VHF放送も見る場合
BS・110度CS共用アンテナ
衛星放送も見る場合
混合
壁のアンテナ端子
(BS/110度CS)
(UHF/VHF)
アンテナ線(BS/110度CS対応品)
アンテナ線
[本機背面]

壁のアンテナ端子がU/V/BS/110度CS混合のとき

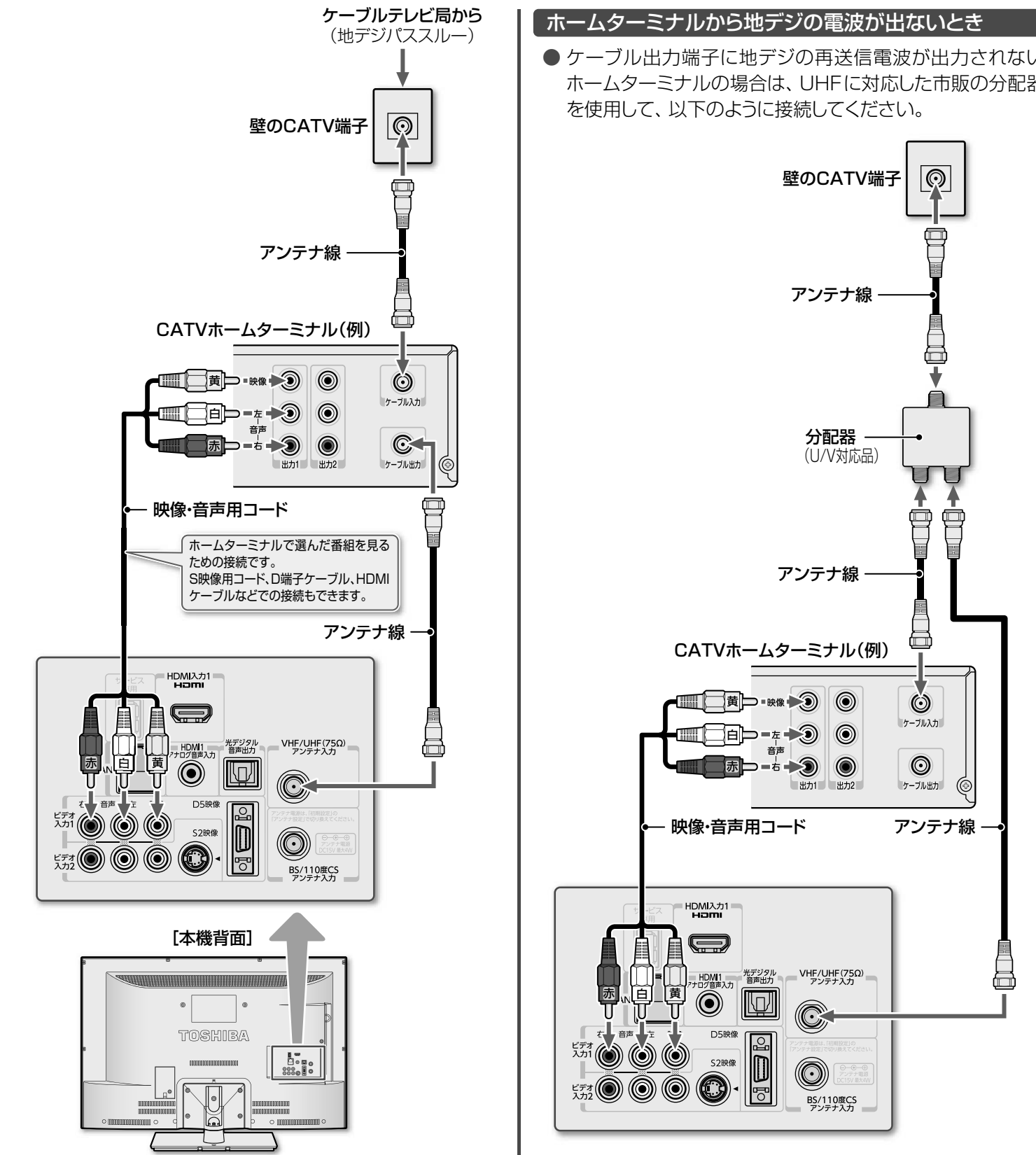
- マンションなどで壁のアンテナ端子が一つの場合は、視聴できる放送の種類について、共聴システムの管理者(マンションの管理者など)にお問い合わせください。

壁のアンテナ端子
アンテナ線(BS/110度CS対応品)
電流通過
BS・CS/UV分波器(例)
(BS/110度CS)
(UHF/VHF)
[本機背面]

2 録画機器を経由する場合　接続例

- BD/DVDレコーダーやビデオ自身で選局した番組を録画するには、アンテナ線を以下のように接続します。

テレビが映らないとき

- 裏面記載の「はじめての設定」をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
- 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 市販の分配器を使用して、テレビと録画機器にアンテナ線を接続してみてください。

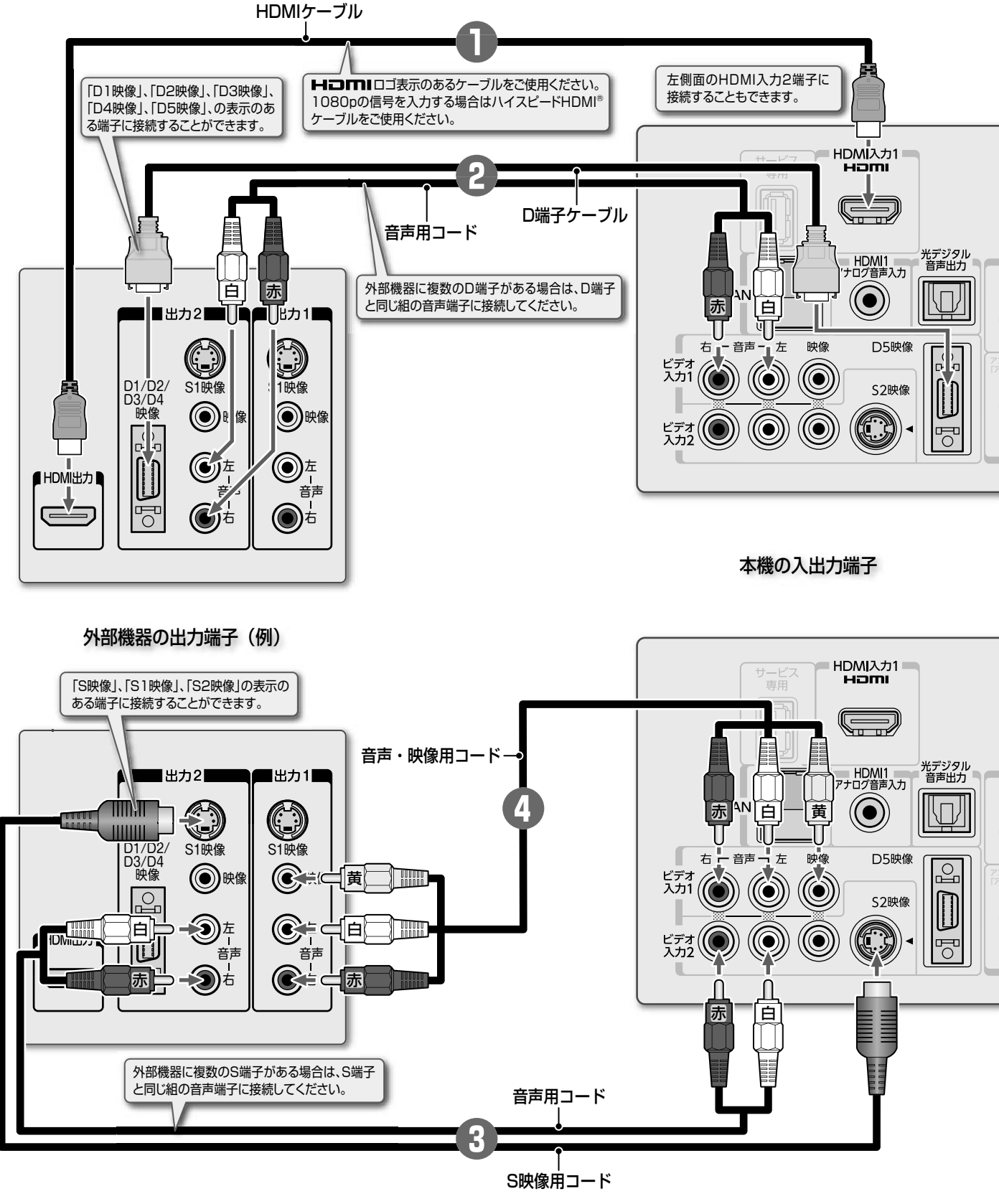
3 CATVを利用している場合　接続例

- ケーブルテレビ局から地上デジタル放送の電波がパススルー方式で再送信されている場合、ホームターミナルのケーブル出力端子(端子名は例です)と本機のVHF/UHFアンテナ入力端子を接続すれば地上デジタル放送が見られます。
- ケーブルテレビ局が独自の方式で送信している放送を見るには、ホームターミナルの映像・音声出力端子などと本機のビデオ入力端子を接続します。(視聴する番組は、ホームターミナルで選びます)

ホームターミナルから地デジの電波が出ないとき

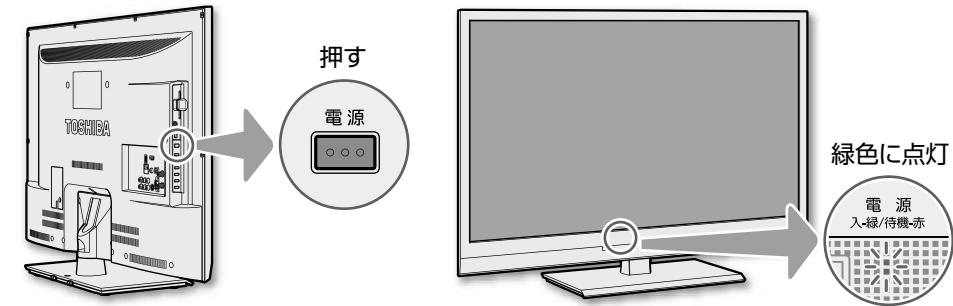
- ケーブル出力端子に地デジの再送信電波が出力されないホームターミナルの場合は、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

壁のCATV端子
アンテナ線
分配器(U/V対応品)
アンテナ線
CATVホームターミナル(例)
映像・音声用コード
アンテナ線

4 外部機器を接続する

- 接続に必要なケーブルやコードは付属されていません。市販の適切なものを別途お買い求めください。
- 外部機器の出力端子の形状に応じて、以下のような接続をすることができます。
- 画質の良さは原理的に❶→❷→❸→❹の順になります。(元映像の品位によっては、画質の違いがわからないことがあります)
- ハイビジョン画質の映像を見るには、❶または❷の接続をする必要があります。

5 電源を入れる

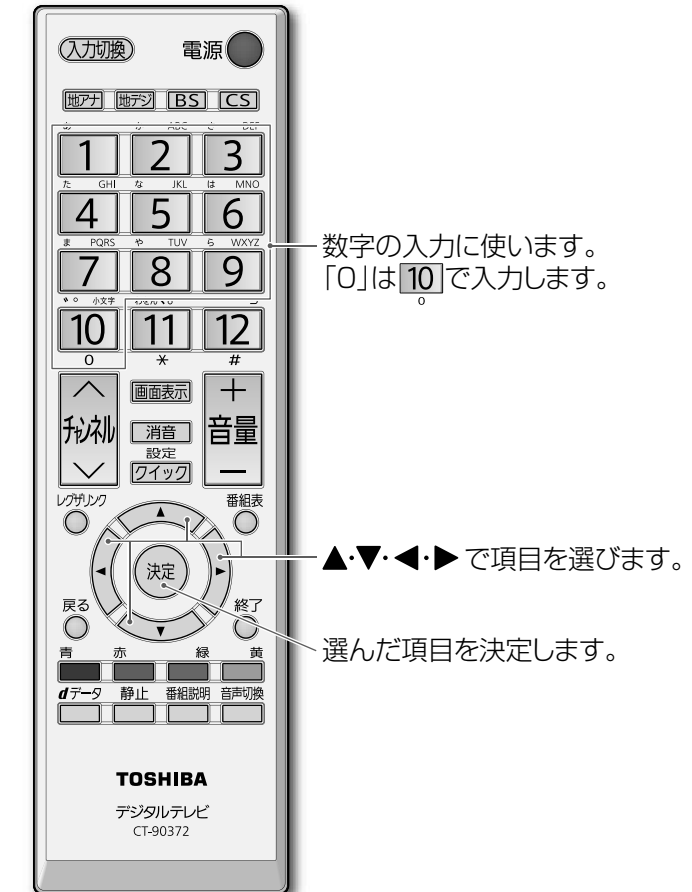
● **本体左側面の電源ボタンを押して電源を入れます。**

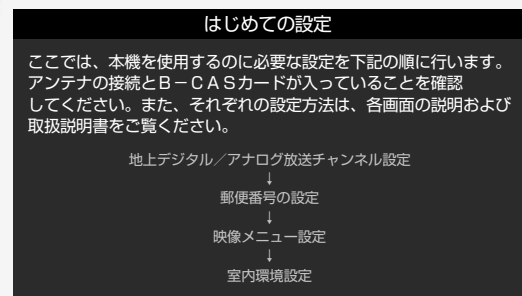
電源がはいると、「電源」表示ランプが緑色に点灯します。（もう一度電源ボタンを押すと、電源が切れます）

※ はじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」の画面が表示されます。

リモコンで電源の「入/待機」を切り換えるには

- 電源「入」のときに 電源● を押すと待機状態になり、「電源」表示ランプが赤色に点灯します。
- 「待機」のときに 電源● を押すと電源がはいり、「電源」表示ランプが緑色に点灯します。

6 「はじめての設定」をする

● お住まいの地域の地上アナログ放送（VHF放送、UHF放送）や地上デジタル放送を視聴するには、以下の手順で「はじめての設定」をする必要があります。

● 「はじめての設定」の画面が表示されたら、以下の手順で設定します。あとでやり直す場合は、クイック を押し、▲·▼と(決定)で「設定」⇨「初期設定」⇨「はじめての設定」の順に進みます。

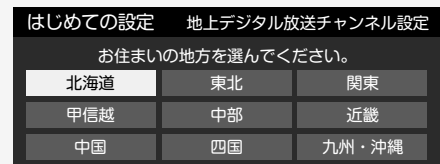
❶ 「はじめての設定」を開始する

① 画面の説明を読んだら、(決定)を押す

② 続いて表示される「地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定」の説明画面を読んで、(決定)を押す

地方を選ぶ画面が表示されます。

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

❷ 以下の操作をする

地上デジタル放送と地上アナログ放送の受信チャンネルを自動設定するための操作です。

① ▲·▼·◀·▶ で[地方]を選び、(決定)を押す

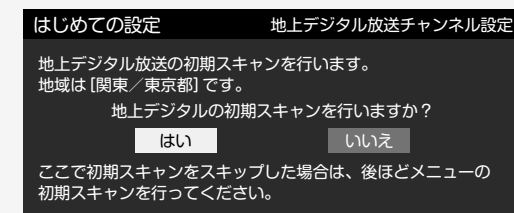
都道府県を選ぶ画面が表示されます。

② ▲·▼·◀·▶ で[都道府県]を選び、(決定)を押す

地域を選ぶ画面が表示されます。

③ ▲·▼·◀·▶ で[地域]を選び、(決定)を押す

お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

※ 地上デジタル放送チャンネル設定開始の確認画面が表示されます。

④ 「はい」の選択のままで(決定)を押す

地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まり、終了すると下図の画面が表示されます。

例　はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	テレビ	テレ玉
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS
7	テレビ	テレビ東京
8	テレビ	フジテレビジョン
9	テレビ	TOKYO MX
10	―――	
11	―――	
12	テレビ	放送大学

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。
- 地上アナログ放送については、あらかじめ地域ごとに本機内に組み込まれたチャンネルが設定されます。

⑤ 設定内容を確認し、(決定)を押す

❸ 郵便番号を設定する

郵便番号を設定することで、地域に密着した天気予報などのデータ放送を視聴できるようになります。

① お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10(0) で入力し、(決定)を押す

間違えたときは、◀でケタを戻して入力し直します。

❹ 映像メニューを設定する

本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、お好みの映像メニューに設定してください。

① お好みの映像メニューを▲·▼で選び、(決定)を押す

❺ 室内の照明環境を設定する

① [はい]の選択のままで(決定)を押す

② ◀·▶ で照明の色（[電球色（暖かい白）]または[蛍光灯色（クールな白）]）を選び、(決定)を押す

電球色の蛍光灯の場合は、[電球色]を選びます。

③ 設定完了の画面が表示されたら、内容を確認して、(決定)を押す

※ 以上で、「はじめての設定」は終わりです。

- それぞれの項目は、あとで設定し直すことができます。取扱説明書「準備編」をご覧ください。
- 次のような場合は、取扱説明書「準備編」をご覧のうえ、「手動設定」の操作をしてください。
  - 見たいテレビ局が自動設定されなかった　• CATVのチャンネルをリモコンのボタンに登録したい　• 設定された内容を個別に変更したい
- デジタル放送の双方向サービスを利用する場合は、インターネットへの接続と設定が必要です。取扱説明書「準備編」の「インターネットに接続する」の章をご覧ください。

7 基本の操作

テレビ放送を見る

1 放送の種類を選ぶ

地デジ：地上デジタル放送　BS：BSデジタル放送
地アナ：地上アナログ放送　CS：110度CSデジタル放送

2 見たいチャンネルを 1 ～ 12（または チャンネル）で選ぶ

- 地上デジタル放送と地上アナログ放送では、「はじめての設定」で設定されたチャンネルが選択できます。
- BSデジタル放送の場合、リモコンの 1 ～ 12 にはBSデジタル放送の各チャンネルが設定されています。
- 110度CSデジタル放送では、1 と 2 にCSプロモーションチャンネルが設定されています）

※ 有料のチャンネルを見るには放送事業者への申込が必要です。同梱の冊子「ファーストステップガイド」をご覧ください。

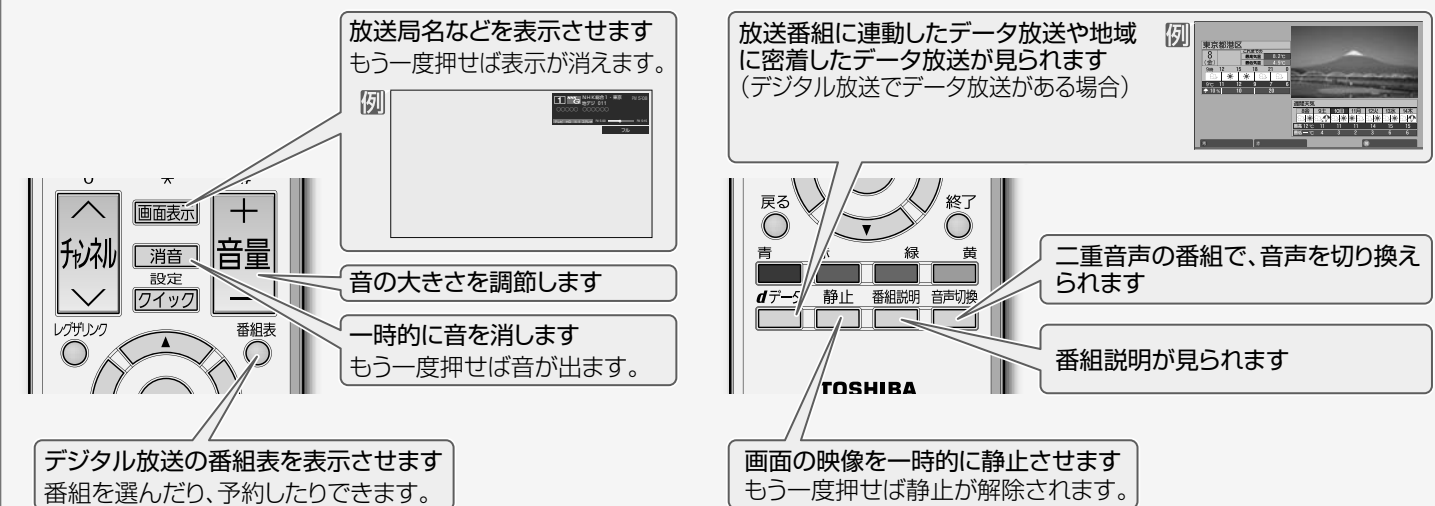
外部機器からの番組を見る

1 番組再生などをする外部機器の電源を入れる

2 外部機器を接続した入力を 入力切換 で選ぶ

- お買い上げ時の設定では、機器が接続されていない「ビデオ入力」が選択できないようになっています。

3 外部機器を操作する

その他の基本操作

本機にはほかにもいろいろな機能があります。基本的な操作に慣れてきたら、ぜひ取扱説明書「準備編」と「操作編」をご覧になり、本機を十分にご活用ください。

困ったときは

BS/110度CS/地上デジタル放送が正しく受信できないとき

以下の操作をすれば、視聴中のデジタル放送のアンテナレベルを確認することができます。デジタル放送の種類に応じた目安のレベル以上になっているか確認してください。

① クイック を押す

② ▲·▼で「その他の操作」を選び、(決定)を押す

③ ▲·▼で「アンテナレベル表示」を選び、(決定)を押す

● アンテナレベルが表示されます。

例）地上デジタル放送の場合

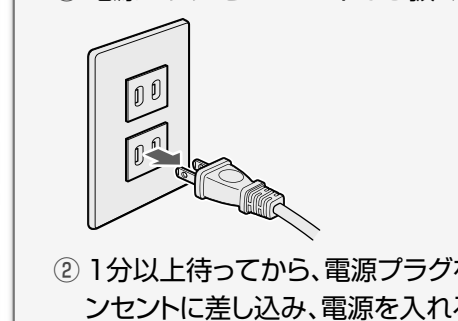
地上デジタル放送が視聴できる目安 **43 以上**
BSデジタル放送が視聴できる目安 **36 以上**
110度CSデジタル放送が視聴できる目安 **28 以上**

④ アンテナレベルを確認したら、終了 を押す

● アンテナレベルが低いと、デジタル放送が受信できなかったり、下の図のようなブロック状のノイズが見えたりすることがあります。
このような場合は、アンテナ線が正しく接続されているかご確認ください。症状が改善されない場合は、アンテナの方向調整や交換などが必要になることが考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする

リセットのしかた

① 電源プラグをコンセントから抜く

② 1分以上待ってから、電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

操作で対処したいとき

① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける

② 本体前面の「オンタイマー」と「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

その他の症状のとき

※取扱説明書「操作編」の「困ったときは」もご覧ください。

こんなとき	確認・対処
●電源がはいらない	●電源プラグが抜けていたら、コンセントに差し込みます。 ●「電源」表示ランプが消えていたら、本体の電源ボタンで電源を入れます。 ※「電源」表示ランプが消えているとき、リモコンで電源を入れることはできません。
●リモコンが動作しない	●本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があるときは取り除きます。 ●リモコンの乾電池の向きを確認して、正しく入れます。 ●リモコンの乾電池が消耗しているときは、2個とも新しい乾電池に交換します。
●放送の映像が出ない	●アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線プラグの芯線（ピン）が曲がっていたり、折れていたりしていませんか。 ●CATVの場合はご契約のCATV会社に、共聴システムの場合は管理者に、地上デジタル放送のパススルー方式に対応しているか、お問い合わせください。
●画面が暗い ●暗くなるときがある	●明るい部屋では、映像メニューを「あざやか」や「おまかせ」に設定してみます。 ●映像メニューが「おまかせ」の場合は、明るさセンサーの前にある障害物を取り除きます。
●番組表に内容が表示されない	●電源プラグをコンセントから抜いたままにしておくと、表示されなくなることがあります。 ●番組表画面の表示中に、クイックメニューで「番組情報の取得」の操作をします。 ●地上アナログ放送やビデオ入力端子に接続したCATV放送は番組表が利用できません。
●番組表の文字が小さい	●番組表画面の表示中に、クイックメニューで「文字サイズ変更」の操作をします。